



No.132

社会福祉法人

南風荘だより



社会福祉法人 南風荘

〒755-0152 山口県宇部市あすとぴあ2丁目2-15
 TEL(0836)43-6211 FAX(0836)43-6225
 E-mail selp-n@ace.ocn.ne.jp
 URL http://www.nanpuso.or.jp



セルプジョブ・アソシエイト 開設しました！

平成30年12月1日、障害のある方の一般就労支援と定着支援に特化した事業所として、セルプジョブ・アソシエイト(SELPPJOB・ASSOCIATION)が開設され、12月3日に開所式が執り行われました。

セルプジョブ・アソシエイトの創設経緯は、これまでセルプ岡の辻で実施してきた就労移行支援事業と就労定着支援事業、就労継続支援事業B型の利用ニーズの増加により、建物等の物理的な課題が

生じたため、就労移行支援と就労定着支援を分離し、新たに雇用就労支援を専門的に実施する事業所として創設いたしました。セルプ岡の辻は、就労継続支援事業B型として、これまで同様に「自分らしく働き、高い工賃を目指していくための事業を継続していきます。セルプジョブ・アソシエイトは、障がいがあっても将来、社会に出て働きたい、一般の企業で働きたいと願う方へ2年間の職業準備訓練を行い、本人の適性や希望に合った職場へとつなぐサービスです。また、一般就労を実現し、6か月経過後は、平成30年4月から新たなサービスとして始まった就労定着支援事業を活用いただき、最大で3年間の職場定着支援を行います。就職後の環境変化等によって生じる生活面の課題やニーズに即した支援を実施していきます。

セルプ岡の辻では、これまで100名以上の方が一般就労され、定員に対する就職率は約70%を保ってきました。平成28年度の



全国の就労移行支援事業所の就職率が約25%なのに対し高い実績を維持できたのは、地域企業の障害者雇用に対する理解や、関係機関等の協力があったからだと思いません。今後ますます引き上げられる障害者雇用率や企業等の障害者雇用ニーズに即応できるための体制づくりや、障害特性や支援ニーズに関係なく一般就労を希望される障がいのある方に対して、適切で質の高いサービスを提供していきたいと思えます。また、地域から信頼され、選ばれる事業所となるように、謙虚さと福祉の志を忘れずに、スタッフ8名と一緒に邁進していきたいと思えます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。(セルプジョブ・アソシエイト 所長 伊藤卓芳)

新年のごあいさつ



理事長 佐藤 坤子



新年あけましておめでとうございませう。2019年の初春を皆様と共に迎えたいと思っております。心からお喜び申し上げます。新しい年が、輝かしい希望への年でありますよう祈ります。

この度、昨年の9月25日付をもって、社会福祉法人南風荘第11代理事長に就任いたしました。セーブ南風の移転新設等々の功績を残された、前西重理事長の後を引き継ぐことになりましたが、浅学菲才な私には荷が重いと感ずる所です。法人役員、職員、ご利用者とご家族、地域の皆様、そして関係各位のご支援とご協力を賜りつつ南風荘の発展に邁進する所存です。また、皆様の思いや願いをかなえられるよう、励んでまいります。

振り返ってみますと、当法人は1956年に社会福祉法人の認可を受け、事業を開始し60数年の歴史があります。当時、ノーマライゼーション理念など全くない時代でしたが「障害があっても自立したい。働きたい。社会参加したい。」障害者自身の声とご家族の切実な願いによって誕生した法人です。このことが、法人の核となり今日まで先駆的な事業展開の原動力となっております。昨年

の12月3日には就労移行支援・就労定着支援のふたつの機能をもつ「セルフ ジョブ・アソシエイト」を開所することができました。この事業を利用して一人でも多くの人が働く喜びを豊かな生活を掴んで欲しいと期待しているところであります。さて、当法人は3つの理念を掲げています。

- ① サービスを必要とする人々を全力で支援する。
- ② ともに生きる喜びを分かち合う社会の創造。
- ③ 信頼される法人。

この理念の具現化はさまざまな要素が必要と考えられますが、障害者施策を取り巻く環境は2000年の社会福祉構造改革に端を発し、措置から契約、障害者総合支援法等々目まぐるしく変化し、それに即応できる法人の経営能力と一人ひとりの人権と尊厳を守り抜く英知が求められています。「安心と安全・改革と挑戦・和」を念頭に置き、法人の公共性、透明性、継続性の維持に努め、だれもが幸せを創造し、享受できる南風荘でありたいと願っています。どうか、皆様のご指導ご支援のほどお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健康とご多幸をお祈りしまして、新年のご挨拶と致します。



社会福祉法人南風荘後援会

会長 木船 富夫



あけましておめでとうございませう。新年にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。平素より、後援会の活動等にご理解ご支援をいただきまして誠に有難うございます。

さて、後援会も本年は設立10周年の節目となります。これもひとえに会員の皆様、役員の方々、各世話人の方々のご尽力による賜物であります。改めて心から敬意と感謝を申し上げます。それから本年は平成から新元号となる新しい門出となりますが、これからの時代の注目する社会的課題は「少子高齢化への対応」もうそこまで来ている切実な危機感、社会の急速な「進化」、人間関係の「希薄化」など変動期にきています。利用者またその家族の「平和」「安全」「安心」をどの様にしていくかなど諸問題はいっぱいあります。後援会も社会福祉法人南風荘と一体となって乗り越えなくては行けないと考えております。後援会もその事を踏まえ、新後援会として全力で支援していく所存でございますのでご理解ご協力をお願い申し上げます。

最後に皆様方のご健康とご多幸を心から祈念し新年のご挨拶といたします。

セルプときわ就労継続支援B型

新作業場・

スヌーズレンルーム開設



セルプときわ生活介護 高橋清一郎



外観



セルプときわの利用者の方々の新しい支援スペースの開設、この度、社会福祉法人清水基金の助成を受け、事業所向かい側の駐車場内にある元自立訓練棟を改装し、新たに、就労継続支援B型新作業場・スヌーズレンルームとして、

九月十一日、ささやかにですがオープニングセレモニーを利用者、来賓、職員が出席してに執り行うことが出来ました。

スヌーズレンと聞いて…それって何？と思われる方も多いと思います。そんなに難しい事ではなくて、心地よい感覚刺激（光、音楽や音、感触、香り）により、リラックス出来る環境を提供すること。私たち日本人が一番落ち着くことが出来る環境はやはり畳のある和室では？との意見がプロジェクトチームから発案され、それがこのたびの6畳の和室スタイルのスヌーズレンルームのコンセプトとなりました。人が心身を休めるために癒しの温泉旅館などを利用する…そんなイメージだと考えて頂くと明快だと思えます。そのルームに併設して可動式の作り付の机やホワイトマグネットシート面の壁を装備した就労継続支援B型の新作業場とエントランスとトイレがあり狭小スペースながらも

目的に使える両ルーム床暖房完備の快適な支援スペースとなりました。

更にセルプときわのシンボリックな空間を屋外に作りたいたいとのことで考え設計された、道路を快適空間の一部に取り込むデッキスペース「空間を豊かに道路を街の広場に」とのコンセプトで考案された長さ20mのエントランスへと続くこの空間は、はじめて完成予想のパース図を目にしたプロジェクトチームの度肝を抜かれ、更に心がワクワクした事を今でも思い出します。事業所側の閉鎖的なブロック塀も撤去されて両側を植栽スペースへとすることにより、開放的で素敵な、地域に溶け込む空間へと変わりました。オープニングセレモニーもこの屋外空間で行われ、利用者の方々の笑顔を見せて頂き、道路が街の広場になる事を実感することも出来ました。

今後この改装されたスペースをどう効果的に有効に支援に取り入れていくかは私たち支援スタッフのアイデア次第と感じています。そして心地よい快適な空間作りの考えを次のステップに、更なるセルプときわの「夢の実現」へと繋げていければと思います。

シリーズ

障がいのある子を持つ親の気持ち

河村 早苗

我が家の長男が生まれて二十年という月日が経ちました。早くも今年成人式を迎えます。思えば長かったような、あつという間だったような。しかし充実した二十年だったのは間違いありません。長男は双子の一人で、もう一人の二男は、世間でいう健康者として成長し、今は福岡で専門学校に通いひとりで生活しています。

少し早く、小さく産まれた長男は、誕生翌日無呼吸と痙攣を起こしましたが無事に大きくなり、その時は障がいを持つとは微塵にも考えていませんでした。しかし、双子の成長に少しずつ差が出始め、9か月の頃、脳性麻痺の診断を受けました。五体満足に産んであげられなかったことが申し訳なく悔やみ続けました。それでも育てなければいけないことには変わりなく、双子というだけでも大変ですが、障がいを持ったことで大変さは2倍3倍です。それからは診察やりハビリに通う生活が始まりました。3歳の時に長女が生まれ大変さに拍車がかかり、幼稚園、小学校に入ってもしっかり言葉で表現できない長男は、延々と泣きわめくことも再々によく親子で泣きました。そんな中、長男が8歳の時に、何故かどうしても生みだかった二女を妊娠し、大丈夫だろうかと悩み続けた頃、ある本と出会いました。その

本には、生まれ持った障がいは、生まれる前に自分で決めてきたことで、それによって人の愛情をたくさん学ぶのだとありました。そして、乗り越えられない試練は与えられないともありました。それを読んで私の心はずっと軽くなり、目から鱗です。

長男は卑屈になることはなくひたすらに目の前の人生の課題に取り組みました。ただ一度だけ「どうして僕は歩けないのか」と私に尋ねましたが私の答は準備万端です。「自分で決めてきたのよ、あなたは偉いのよ」と。長男は「そうか」と答え、同じ質問をすることはありませんでした。そんな長男は今でもたくさんの人に支えられながら前向きに人生を楽しんでいます。

武重 和美

二十六年前の夏、月足らずで産まれてきた次男は産声を上げる元気もなく、すぐに救急車で医大に運ばれました。私は一人産院に取り残され、ずっと泣いていました。どこか遠くから聞こえてくるテレビの音は、岩崎恭子ちゃんが平泳ぎで金メダルをとったと何度も繰り返していました。担当医から告げられたいくつもの病名。輸血。無事に生きられるのかさえもわからないまま、毎日母乳をしぼっては冷凍して届けていました。ダウン症だということは、一ヶ月経った頃に電話で知らされました。担当医は優しく、落ち込んでいた私に直接伝えることができなかったようです。おっぱいを吸う力もないちっちゃな赤ん坊と一緒に、私は障害児の母になるため入院しました。小児科病棟は、こんな世界があるのかしらと驚く程の場所でした。そこには、明日をも知れ

ぬ子供を命を抱えた家族がたくさんいました。そんな中でも、たった今、我が子が息を引き取るかもしれない切羽詰まった状況なのに、いつも笑顔のお母さんがいたので。私は、こんな事で泣いてちゃいけない……この子は、生かされたんだ……生きている。そう思いましたが、三歳までは、毎晩、寝顔を見つめていると涙が止まりませんでした。

歩けないかもしれないと思っていたら、自転車に乗れるようになりました。それから、どこでも一緒に自転車が出かけました。習い事も、習字は西へ、絵は北へ、ピアノは南へとあちこち行かせるうちに、自然と道路や交通ルールも覚ええました。お手伝いも、小学生からお米をとき、ジャガイモの皮をむき、掃除機をかけて、洗濯物をたたんでもらいました。自分でやった方が早くてきれいだし、友人にはこき使うねと嫌味を言われながらも、いずれ誰かの役に立つ、何かできれば誰も見捨てはしないだろうと考えるからです。

スペシャルオリンピックスで、水泳も教わりました。水への恐怖心が無くなり、平泳ぎで全国大会に行き、賞を頂くようになりました。気持ちが表現できないと、お地藏さんのように頑なに心を閉ざしていましたが、知らない人と挨拶や話ができるようになりました。大勢の人と接して、世の中には色々な人間がいるんだということを感じています。

今、彼のいない生活は考えられません。洗いや多いときに、「今日はお母さんがするよ。」と「いいよ。僕がやるから、お母さんは寝ていて。」と肩を揉んでくれます。心優しい人に成長してくれて、あの時生かされた意味がわかったような気がします。

THK がんばる。
S.A さん



新年号にあわせ心機一転の年。
今までの感謝を胸に猪のごとく
前進あるのみ！ N.M さん

工賃を上げてもらいたい。
仕事をよくしたい。
M.T さん

Choo Choo TRAIN
H.N さん



空港で販売頑張る。
A.S さん

今まで通りに藤山を中心に
生活リズムを作り作業にい
そしみたいと思います。
T.Y さん

作業に邁進していきます。
S.S さん

セルプときわの
行事に参加するぞ
N.T さん

今年は娘のために
仕事を頑張っていくたい。
M.N さん

今年は一年を健康に
過ごしたい。 H.M さん

年女・年男の 新年の抱負



プラレールを見に行くぞ
S.E さん

真っ直ぐ前を向いて
歩いて行こう
Y.T さん

猪突猛進し過ぎず、ちょっと
だけ猛進して頑張ります。
T.U さん

工賃を貯めてトトロ
グッズを買いたい。
F.S さん

ピアノを頑張る
M.H さん

いつまでも のびのびと
しごとも せいかつも
S.S さん

今年も一生懸命頑張ります。
H.T さん

現役最後の年、集大成と
なる仕事をする
Y.A さん

今年も仕事とダンス頑張るぞ。
バスケットボールもやってみたい
K.S さん



セルプ南風

2018

秋はイベント盛りだくさん!!

セルプ南風の秋は8月29日、日帰り旅行（イオンモール・北九州市）から始まり、9月4日から開催された山口ゆめ花博へ散策。会場では70万人来場お祝いで来られていた村岡県知事と記念写真。

10月27日は「秋まつり2018」が開催され、山口ゆめ花博のテーマソング「ゆめの種」を唄われた原田侑子さんが来場され目の前でライブ出演。

10月31日の夜には「ハロウィンナイト」が行われました。皆さんとても喜ばれました。



山口ゆめ花博 村岡知事と



秋まつり 原田侑子さん来場



セルプときわ

12月1日

日帰り研修旅行in萩

（萩本陣 明倫学舎）焼肉（じゅうじゅう亭はなれ）

ときわの各事業合同で今年度は宇部市で焼き肉と萩のコースの二手に分かれ行いました。

萩コースは昼食は健康バイキング、選り取り見取りプレートに料理を載せられ、「どれとった?」「から揚げ取りました(笑)」など会話をしながらの楽しい昼食になりました。明倫学舎ではバイキング後というのもあり、重たくなったお腹を連れ、明治維新の歴史や最古の木造校舎の風情を味わいました。焼肉のコースでは美味しいお肉をみんなで囲み、満足な昼食となりました。



萩コース



焼肉コース

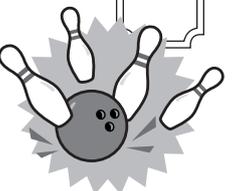
セルプ岡の辻

9月15日

第12回 自治会交流

ボウリング会 開催!!

9月15日、毎年恒例の交流会をフジグラン宇部店 namcoワンダーボウルでおこないました。これまでグラウンドゴルフ大会を開催してきて第12回目を迎えるにあたり、今年から「ボウリング大会」にリニューアルしました。宇部ライオンズクラブの方々の協力のもと、地域の方々にもご参加いただきました。個人戦で2ゲームを実施し、ストライクが決まると大歓声上がるなど、みなさん楽しい時間をともに過ごし、盛大にとりおこなうことができました。





セルプ藤山

9月13・14日
10周年記念旅行へ行きました。

セルプ藤山では、9月13日、14日に研修旅行に行つて参りました。初日は、ウエスの得意先でもある門倉貿易様へお邪魔させて頂き、作業場や倉庫の原料について説明を受けました。2日目にはユニバーサルスタジオジャパンを



訪れました。アトラクションへの乗車や観光を楽しみました。2018年は、セルプ藤山が開所して10周年の節目の年でもあったので記念に残る研修旅行となりました。



ぴあ南風

12月8日
共生社会を目指して

平成30年12月8日、第14回暮らし改善&公開広場が、多世代ふれあいセンター1階展示ホールで行われました。障害のある方が、日々生活をされている中での工夫や人との関わり、盲導犬の役割や活動について、発表をしていただいたり、盲導犬や車椅子の体験を通して、参加をされた健常者の方が、少しでも障害者の方々への理解に、繋げていくことが出来ればと思いました。



各事業所住所・電話番号

- ◎セルプ南風
◎ふれあいのお店南風
住所 宇部市あすとぴあ二丁目二一五
TEL 0836-43-6211
FAX 0836-43-6225
E-mail seip-n@ace.ocn.ne.jp
- ◎セルプときわ
住所 宇部市西岐波大沢西前
TEL 0836-54-0130
FAX 0836-51-0335
E-mail seip-tkw@juno.ocn.ne.jp
- ◎セルプ岡の辻
住所 宇部市大字西岐波字
西迫ノ田二一八九番地六〇
TEL 0836-54-2960
FAX 0836-54-2961
E-mail seip-o@juno.ocn.ne.jp
- ◎セルプ藤山
住所 宇部市西平原四丁目三三〇一
TEL 0836-38-6669
FAX 0836-38-6697
E-mail seip-t@cosmos.ocn.ne.jp
- ◎ぴあ南風
住所 宇部市鶴の島町五二二
TEL 0836-31-5151
FAX 0836-31-5160
E-mail pianan1@circus.ocn.ne.jp
- ◎セルプシヨブ・アンシエイト
住所 宇部市西平原四丁目三二一十
TEL 0836-38-8550
FAX 0836-38-8559
E-mail seip-job.associate@titan.ocn.ne.jp

新人職員紹介

セルプ南風



大霜 高雄 (支援員兼運転員)
皆さまが利用できるように無事故
で頑張りたいと思います。



セルプ岡の辻



大西 郁子 (GH世話人)
はじめてのことばかりで皆様は何
かご迷惑をおかけするかと思い
ますが、精一杯頑張りますのでど
うぞよろしくお願いいたします。



車いす寄贈 セルフ岡の辻

この度、山口ゆめ花博協賛企業
様により協賛された車椅子を1台
寄贈していただきました。

また、12月17日、山口県遊技業
協同組合様による福祉用具等の贈
呈式に出席し、車椅子1台を寄贈していただきました。

岡の辻では、作業や体調不良で歩行が困難な時などで一
時的に車椅子を必要とする方がおられます。これまで、
市の車椅子貸出サービスを利用し
施設用としての車椅子設備はあり
ませんでしたが、今後は色々な場
面で活用させていただきます。



山口県遊技業協同組合



山口ゆめ花博協賛物品
ご寄贈いただいた車椅子は、大
切に長く利用させていただきます。
ありがとうございます。

全国アビリンピック2018おきなわ大会

喫茶サービス部門 金賞 厚生労働大臣賞 伊藤 淳平

開催期間

2018.11.2~11.5



私(伊藤)が接客を初め
て教わったのは9
年前でした。福祉
サービス事業所の
レストランでホー
ルを担当した事が
きっかけでした。
そこで今日まで行
動を共にする事に
なる三藤氏と当時

私の支援担当だった方々に教わりまし
た。

アビリンピックに挑戦を始めてから
は、三藤氏から練習時間の設定やメン
タル的な調整、また、ソムリエの方を
紹介して頂きプロの接客を教わりまし
た。基本練習やレストランでの実戦練
習、接客の心構え等を教わりました。
全国大会出場が決まってからは毎日イ
メージトレーニングを行いました。

アビリンピックの練習と仕事の両立
は、僕にとって負担が大きいのでは
ない。体調を崩して仕事を休み仲間
に心配をかけた事や、三藤氏に逃げ出
した思いを爆発させた事もありまし
た。それでも周りの皆様に助けられ
ながらなんとかやってきました。

接客を上達させるには心と技術(技
能)の成長が大切だと感じています。心
も技術(技能)も周りの皆様に成長させ
て頂いたと思っています。そのおかげ
で今回このような素晴らしい賞を受賞
できました。技能五輪とアビリンピッ
ク合同開催であり2千数百人の閉会式

で表彰台に上がった瞬間、初めて味わ
う言葉に出来ない感情が込み上げて来
ました。貴重な経験をさせて頂きまし
た。たくさんの方々にお祝いして頂き
ました。たくさんの方々にお祝いして頂
きました。それら全てが自信に繋がりに
ました。育てて下さった皆様、応援して
下さった皆様、喜んで下さった皆様に
心から感謝しています。ありがとうございます。

最後になりましたが、これからアピ
リンピックに出場される方へメッセー
ジを送らせて頂きます。皆様アピリ
ンピックで精一杯頑張っている姿は人
を感動させます。その思いは次の世代
に受け継がれます。みんなでもっとも
とアビリンピックを盛り上げていって
下さい。宜しくお願い致します。

編集後記

時間を大切に楽しい一年にしたいと思
います。(部坂)

今年怪我をしないように気を付けま
す。(吉川)

ドラッカーと共に、絶対王者に挑戦で
きる、そんな1年にしたいと思います。
(村田)

今年が年号が変わりますので飛躍でき
る1年にしたいと思います。(三好)

平成が終わる新しい年号へ。新人類世
代の自分は何処へ。(松岡)

一日即ち一生、毎日を大切に生きる。
(山田)